

なぜ翔英館は「オンラインリモート指導」を続けるのか

翔英館に通っている、または入学を検討している生徒さん、そして保護者の方へ。

「緊急事態宣言が解除されて、他塾では対面授業を再開している」「翔英館はどうしてオンラインを続けるのか」。この様なご質問をいただく様になりました。

皆様にご説明したいと思います

結論から言います。「危機管理の本質を考慮して」「これからの時期だからこそオンライン指導を続ける」ことを宣言します。

<意識レベルの差>

先日、所用でどうしても出なくてはならず、千葉駅に行きました。また、弊社の本社事務所は東京ですので、どうしても行かなくてはならない事もあります。平和で呑気な街、銚子ではあまり感じられない事。

それは、、、(当たり前ですけど)

「まだコロナは続いている」そして、「まだこのくらい緊張して行動するべきだ」ということです。

①都会では、まだまだ「緊張」が続いています。

なんらかの施設に入る場合、入り口と出口を完全に分け、入る場合は消毒薬を手につけて、マスク着用でない場合、入場お断り。場合によっては検温をお願いされるケースもあります。飲食店でさえ、「食べたり飲んだりしている瞬間」以外はマスクをつけ直す。人が密集する可能性がある空間は、緊急事態宣言解除後も閉鎖されたままです。

たしかに人の流れは多くなりましたが、各自、、、それは何かを「提供する側」も「される側」も、「しっかりと」恐怖と闘っています。ちゃんと緊張して行動しています。

②銚子の中高生を見ていて思うこと。

さて、一方銚子の場合。学校が再開した後、銚子の中高生が街を歩いている姿をよく目にする様になりました。活気が戻ってきて、それはそれで良い光景だなとは思いますが、気になる事は、「ちゃんとマスクをしていない」子が多いという事。外している子、顎にかけている子、耳からぶら下げている子。「意味ないよ!」と思いつつも、その気持ち、わかります。「暑い」「息苦しい」ですからね。

学校では先生の指示に従って、「ガマンして」マスクをしていても、暑いから、頭がぼーっとしてしまうから、学校から出たら(先生の監視を逃れたら)外してしまう。気持ちは本当にわかります(私だって、人がいないところでは外してますし)。

そして、人から見たら「不届きな行為をしている」様に見える皆さんが、心の中ではちゃんと「本当はまずいんだろけれど、暑いから外してしまう」「罪悪感がある」という気持ちなんだろうな、という事も察することができます。

そう、これからの季節、どんどん暑くなって、ますます「マスクをしなければならぬのは分かっているけれど、できればしたくない」環境となります。だからつけない、外す。そして、クラスター感染の第二波、第三波へと繋がっていきます。

どうも銚子では「コロナは終わってしまった」と受け取れる様な行動が目立つ様な気がします(都市部の人の行動と比べると如実だと思います)。いやいや、皆さんを責めているのではありません。皆さんのお気持ちも分かるのです。「マスクは出来る限りして欲しい」事をちゃんと分かっています。そして、「周りの人が緊張感がないから、自分も」なのでしょう。

<オンラインを続ける理由>

さて、これからの暑い季節。もし「通塾」を再開したら。

①翔英館の指導は、「くつろいで」受けてください。

学校でマスク着用を義務付けられ、息苦しい思いをして、暑い中を歩いて塾に登校した皆さんに私は、「授業中もマスクをずっとつけていなさい」と言わざるを得ません。「学校でマスクをして、塾でもマスクをして、もうイヤ!」って思いますよね。

ソーシャルディスタンス。教室の机も離しますし、入り口での消毒や検温もお願いすることになります。自習室も密接した空間ですので、登校を再開したとしても、使用は出来ません。

②30°を超えてマスクをつけたい?

冬にマスクをつけて歩いた事はあるでしょうが、真夏の炎天下でマスク着用で歩いた経験はほぼないと思います。頭がぼーっとするとか、息苦しいとか、そういう事だけではなく、意外な落とし穴も。それは、「マスクで常に喉は湿っているのに、喉の渇きを感じづらい」ということ。体が水分を欲しがっているのに「喉が乾いていない」と錯覚し、飲み物を摂取しない。そして、熱中症になってしまう。それには水分補給する際にマスクを外すのが面倒だから、「まあいいや」でタイミングを失う、という理由もあるかもしれません。

ですから、翔英館では、「マスクをしないで」「くつろいで」「安全に」授業を受けて欲しいのです。暑い中、マスク着用で登下校をする煩わしさを忘れて欲しいのです。「感染するかも」という恐怖など感じないで欲しいのです。

③「塾に行きたくない」って思って欲しくないです。

塾がある日にこれが繰り返されると、皆さんは必ず「面倒だから塾に行きたくない」と思うようになるはず（言っておきますが、もし登校再開となれば、感染対策は皆さんが「うざい」と思うくらい、学校よりも徹底的にやります。皆さんと、皆さんの「ご家族」を守るため、鬼になります）。だって既に「学校ですべてマスクをしているのが憂鬱」と思っていますよね？「行かなくてはならない学校」ではなく、塾は「皆さんの学習意欲」に左右されるのです。そのせつかつの学習意欲も、「煩わしさ」に負けてしまう可能性があります。

お店で物を買う場合の「ソーシャルディスタンス」とは訳が違います。滞在時間が段違いに長いのですから、緊張しっぱなしでしょう。皆さんは翔英館で「落ち着いて」過ごす事はできないと思います。

その煩わしさを排除し、皆さんが落ち着いて指導を受ける環境を作る事を優先します。

④「指導を受けやすい塾」を目指します。

これこそ、昨今の状況下では「通いやすい（指導を受けやすい）」塾と言えるのではないのでしょうか。

翔英館は6年前から「オンライン指導」を行ってきました。10年前から、インターネットのシステムを使って指導して来た実績もあります。「対面じゃないと」「生身じゃないと」ちゃんと教わる事が出来ない、なんて幻想です。「塾とは、今までそうだったから」そう思い込んでいるだけです。お隣の国韓国では、「ネット塾」はとっくの昔から「常識」です。

今までもそうやって、大学受験、高校受験、中学受験で数多くの合格者を出してきたのが、翔英館なのです。コロナ騒動で突貫工事でオンラインを始めた塾と一緒にしないでください。どう伝えるべきか、何に気をつけて指導するのか、その辺りのノウハウがよその塾とは全く違います。

⑤できれば、マスクをしていない皆さんを指導したい。

そして、翔英館は「一方的な講義形式」の授業など、一つもありません。必ず、皆さんの出来を確認しながら、皆さんとコミュニケーションを取りながら授業を進行していますよね？教室内で、「マスクをした皆さん」の口もとを見ることが出来ないのです。出来ればマスクなしで皆さんの顔を拝見したい。マスクで声が籠りますし、口の動きも見えません。後ろの方に座っている人であれば、ますます聞き取りにくくなります（オンライン授業は、「全員同じ距離」で座っていますので、それができます）。

⑥マスクをして喋りっぱなしの経験がありますか？

また、先生たちも、完全にマスク着用で授業をする事になります。

授業を受ける側の皆さんと違って、先生たちは「喋る量」が桁違い。例えば「マスクを着用して5時間連続でしゃべり続ける」ことが皆さんには出来るでしょうか。夏期講習ともなれば、1日10時間喋りっぱなし、も普通です。先生たちスタッフの健康面も考えて、「皆さんと無理に接しない」事を選択しています。

⑦「終わってない」のに、「終わったつもり」の錯覚

人間、ずーっと緊張して過ごす事など出来ません。今はまだ「入口で消毒を!」「距離を保って!」「マスクをつけて!」と言っている通塾型の塾さんも、そしてそこに通う生徒さんも、だんだん気が緩んでくれば、そのあたりがいい加減になってきます。学校再開2週間足らずで、すでに皆さん自身が「少しいい加減になっている」と感じていませんか？

周りでは感染者がいない、だから自分や友達も大丈夫。

これは「終わった」のではなく、皆さんの意識が3月より前に「戻った」だけです。ペストも、天然痘も、スペイン風邪も、「波」を繰り返してきました。数ヶ月で収束するなんて事はありません。何年にも渡って新型コロナウイルスと戦い、そして共存する世の中になります。まだまだ、その現在進行形の中にいる事を忘れてないでください。

⑧「元に戻そう」よりも「変わろう」と思うこと。

「早く収束して、前の様に戻るといいですね。」こんな言葉をよく聞きます。

私は無理だと思います。これを機会に、世の中の仕組みは色々「変わる」のです。リモートテレワークで、「通勤の必要性」に疑問が生じた方も大勢いらっしゃる。「生身で対面すること」に、どれほどの意義があるのか、と感じている方もいると思います（恋人や家族であれば、生身で接する事は大切でしょうけど）。今回の騒動で、世の中の殆どの人は、「今までも不要だったのに必要だと思いついてしまったこと」に気がついてしまいました。

⑨オンライン受講のメリット

オンライン指導。こんなにいい事があります。

1)大雨も、嵐も、そしてコロナ感染も心配なし!

2)どんな遠隔地からでも受講可能。通塾や下校の負担なし。

3)保護者の方の送り迎えの負担なし。

4)塾の授業の前後の時間を有効活用。

- 5) 自宅にいながら塾の友達やライバルとも交流。
- 6) 地球上のどこからでも受講可能。
- 7) パソコン、スマホ、タブレット、どれでも受講可能。
- 8) 安心安全。登下校中の事故やトラブル、新型コロナウイルス感染の心配もなし。
- 9) 「教室内格差」が発生しにくい 生徒との距離が同じ
- 10) 欠席が少なく、授業進度の遅れの心配が少ない
- 11) 「こっそり授業参観」が可能で、「指導報告」などなくとも、実際にどのような授業を受けているかを保護者の方が認識できる
- 12) 講師と生徒が密接しないので、いろいろな意味で安全
- 13) これからの夏、暑苦しい「マスク」をしなくても受講出来る
- 14) 生徒の「解答」や「課題進捗状況」も、手元をカメラで写すだけ
- 15) 落ち着いて、くつろいで、緊張せずに指導が受けられる

⑩他塾の「オンライン」「映像授業」とは、ここが違う

1) 集団授業も個別指導もオンライン

2) ビデオオンデマンドとは違う、リアルタイム双方向通信

→ 一方的な講義ビデオを見るだけではなく、わからない箇所はピンポイントで指導してもらえます。

3) ご家庭が翔英館に

→ 「生身の授業の代替品」ではなく、ご家庭からでも翔英館の指導のクオリティを落とさない工夫をしています。「通わなくても翔英館」「ご家庭でも翔英館」です。

4) オンライン指導歴 6 年のノウハウ

→ 翔英館のオンラインは「コロナの影響」で始めたわけではありません。他塾の突貫工事のオンライン指導とは訳が違います。

5) 「いつでも受けられる」は、「今受けなくても良い」という事

→ 「好きな時にビデオを見る」形式の授業は、「いつでもみられるから便利」と思いがち。でも、「今見なくてもいい」ので後回しにしがち。翔英館の授業は「決まったスケジュール」がありますので、「後回し」はせず、皆さんの学習のペースメーカーになってくれます。

6) 何より、翔英館スタッフの「指導力」は他塾と違うことが「証明」されています

→ 千葉県授業力コンテスト 6 年連続 1 位! 「自称・指導力がある塾」とは違います。

7) 課題と家庭学習

→ オンラインでも課題や家庭学習指示が出ますし、チェックもしっかりと行っています。

8) オフライン自習室

→ 授業時間外のオフラインの時間でも、チャットを使って質問を送る事が出来ます。チャットで返信する以外、場合によってはオンラインで指導する事も出来ます。

9) チャットでプリントや資料受取、質問も受け付けます

10) 無料体験入学も、ご入学手続きもオンライン!

「塾は通って対面で授業を受けるもの!」

この常識をそろそろ捨てませんか?

元に戻るのではなく、変化を受け入れる時期に来ていると思います。

安心、安全な環境で、翔英館の指導を受けませんか?